

# 地域の『ひとものこと』とふれあい育つ子どもたち

～公民館がつなぐ地域協育ネットづくり～

【長門市 深川中学校区】

## 地域の概要

深川中学校区は、長門市の中央部に位置し、長門市駅南を中心に立地する公共施設や商業施設、国道316号線に沿って湯本温泉街、田園地域の渋木地区と広範囲にわたっています。本校区も他地域と同様に少子高齢化の波は押し寄せており、渋木地区の大畑小学校、深川中学校大畑分校は、深川小学校、深川中学校へそれぞれ統廃合され、児童・生徒はスクールバスで通学しています

人口	13,944人	
世帯数	6,006世帯	
対象校及び児童生徒数	深川中学校	339人
	深川小学校	541人
	向陽小学校	64人

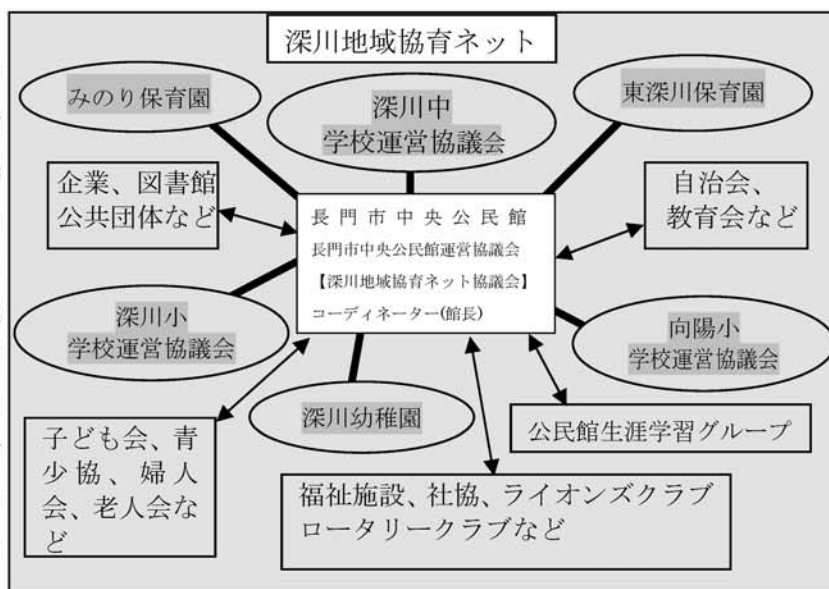
## 組織の内容

### 【これまでの経緯】

深川中学校区では、1中学校と2小学校があり、義務教育9年間で児童生徒を見守り育てていこうと小中連携教育の推進や学校・家庭・地域が連携し子どもたちを育てていこうとするコミュニティ・スクールに取り組んでいます。中学校では、職場体験などを取り入れたキャリア教育の推進や教員が小学校へ出向いて授業をするなど、小・中学校間の交流や地域、事業所、高校教育機関との連携を深めてきています。小学校では、学習支援ボランティアや外部講師を招いての授業や地域の素材を取り入れた授業づくりなどにも取り組んでいます。また、小・中学校ともに児童生徒が安全に登下校できるようにと、保護者や地域の方による見守り隊も活動しており、地域の「ひと・もの・こと」とのかかわりをもっています。このように、それぞれ独自に進められている学校支援の既存の組織や団体の上に、公民館で活動している社会教育関係団体や関係諸団体の網をかけ「深川地域協育ネット」として組織していくこととしました。

### 【組織づくりと運営】

公民館は、地域の多くの人たちが「つどい」「まなぶ」「むすぶ」役を担っています。そこで、この公民館が中心になって、協議会を設置しコーディネーター役を務めていくこととしました。協議会は改めて設置するのではなく、既存の公民館運営協議会を活用し、学校と公民館とのつながりは、学校の担当者と公民館とが幹事会をもち、公民館長がコーディネーターとしてつなげることにしました。



会議は最小限にとどめ、コーディネーターが学校や地域の要望を聞きながら、有意義な活動になるようにつなげ、更に学校と振り返りをしっかりしながら、次への取組へ生かしていくようにしています。地域協育ネットを進めていく上で、コーディネーターは重要な役割を担っています。普段から、公民館に集う様々な生涯学習グループや他の関係諸団体に地域協育ネットについて説明し、地域各戸へは公民館だよりを通して知らせるようにしてきました。今後も、各小・中学校の既存の学校支援ネットワークと、公民館がもっている資源を活用していきながら、子どもの育ちを見守り育てていきたいと思っています。